

1・疲れた夜の！ あまあまラブラブいちゃいちゃえっち

1の1 帰宅してすぐの、ラブラブ授乳手マン

とある夜。七時ごろ。

主人公、仕事を終え、よろよろのフラフラで帰宅してくる。

肉体的にとりよりも、精神的にかなり疲弊している。正直今すぐトワに甘えたい。

SE1…マンション廊下の環境音

SE2…主人公が自宅の扉を開錠する音

SE3…主人公が自宅の扉を開けて、閉める音

〈主人公〉

「ただいまあ……」

SE4…【かなりスピードを上げて加工して、5秒分ほど繰り返し流す】トワの足音

主人公が家に入るなり、トワが飛びついてくる。

トワ、まだ部屋着に着替えていない。お出かけ着にエプロン姿。

主人公を待ちながら夕飯の支度をしていたようだが、着替えていないあたり、なんだか用意周到である。

服はワンピース。すぐに脱げそう。

SE5…トワが主人公に抱きつく音

●少し遠くから近づいてくる【「り」のあたりから左側】

「お・か・え・り・な！ さい♥」

〈主人公〉

「ただいま！ トワちゃん！」

SE6…主人公がトワと抱き合う音

主人公、トワの顔を見ただけでなんだか元気になる。

抱きしめられて、トワの匂いをすんすんかいでいるだけでエネルギーが回復してきて『大丈夫、いける……』という気持ちになってくる。

主人公が明るく振る舞おうとしているが、実際はへろへろなのをすでに理解している。トワ、いったん主人公に向き直る。

●中央 向かい合うイメージ

「待ってましたよお♥

【まくしたてるように甘く早口で】

早速ですけどえっちします？ それともえっちします？ あ、やっぱりえっちします？
【返答を待たず『するよね！』という感じで】
イエス！ しましょう！」

〈主人公〉

「いやいや、トワちゃん、わたしは……」

主人公、嬉しいが、なんだか申し訳ない。
一日頑張って、疲れているのはトワも同じだからである。

●中央

【主人公のセリフを想定して、ワテンポ置いて。コミカルに、甘く諭す】
素直になって、いいですよ？」

〈主人公〉

「……うう!! ……したいです……!!」

だが主人公、こう言われるともうだめ。
トワとの同棲生活で、すっかりえっち大好きなのがバレてしまった。
というか、そうなるように育てられた感がある。

●中央

「『オーケー』で】

OK♥

わかってたんですよ♥

今日はきつとボロボロ。ヨボヨボの状態で帰ってくるだろうと！
トワ、そのつもりで待ってましたからね♥」

SE7…トワがエプロンのポケットからスマホを出す音

〈主人公〉

「はっ。もしや……」

●中央

「はいっ。いちばん覧下さい♥」

トワ、スマホを取り出し、謎のアプリに記録された主人公の健康状態を見せる。
主人公、気づくとすっかり体調管理までされている。

SE8…【2回分繰り返して『ピ、ピ』と鳴らす】トワがスマホを操作する音

●中央

「アナタのお仕事の大変さを示したグラフが、青。

アナタの体調を示したグラフが、赤♥

【『う〜ん』と『今日』で一呼吸置く】

う〜ん。今日、見事につらさのピークが重なっていますねえ。

【少し間を置く。主人公がグラフを見て『あ、客観的に見て休まないとだめだわこれ』と理解させる時間を与える】

これはもう、休むしかありませんね♥

リケジョのトワには。全部お見通しなんですよ♥

●少し遠ざかる 主人公の手を引っ張って、寝室に連れて行くとする

観念したら、はい♥ お布団、お布団♥

●中央【至近距離】

【少し間を置いて。『うあれ』という感じで】

うあれは泣いてますよ」

トワ、主人公が泣いているので、びっくりする。

普段からして涙もろい人だが、まさかまだ何もしてないのに泣くとは思わなかった。
対する主人公、トワの優しさが嬉しくてたまらない。

主人公はモテず、恋人と過ごした経験があまりないままアラサーまで年を取った。なので、
愛されること、尽くされることに慣れてない。疲れた身体に愛情が染みて、涙が出てしまう。

〈主人公〉

「……ご、ごめんね……。嬉しくて……。」

トワちゃん、こんなにわたしのことを考えてくれてるんだなあって思ったら……。な、涙が出てきちゃってえ……。

トワちゃん、ありがとう。こんなにしてもらえるなんて嬉しいよ……。

本当はね。今日結構辛かったの。

だからえっちなしたいです。トワちゃんにめちゃめちゃにされたいです……!!」

トワ、主人公が律儀に『えっちなしたい』と復唱するので、トワ『これが日頃のえっちな賜物……』『すっかり調教してしまった……』と少し思う。

トワ、本当は人並みにモテるのに、なぜかいつもそれに気づかずスルーし、結果強い孤独感を抱えたまま大人になってしまった主人公が、可愛くてたまらない。

特に自信なさげに丸まった背中と、しゅんとした伏し目がいい。

『正直食べちゃいたいです♥』と思っている。

●中央【至近距離】

「【相槌を打つ】

わぁお……。

【声が少し真面目になる】

そうですね。今日はそんなにづらいことがあったんですねえ。

【優しい声で】

大丈夫ですよ♥ これからトワがたっぷり♥ その疲れを取ってあげますから♥ それにい。

●右耳にささやく【至近距離】

泣くのはお布団の上で。ですよ♥」

トワ、主人公の手を引いて、寝室へ連れて行く。

SE9…【繰り返して、合計5秒分ほど流す。二人分重ねない】トワと主人公の足音

SE10…トワが寝室の扉を開ける音

SE11…トワが寝室の扉を閉じる音

SE12…【ここからトラック終わりまで小さく流れ続ける】部屋の環境音

●中央【少し離れている】

「はい、とーちやく♥

【可愛くて仕方ない、という感じで】

あぁ。また目、うるうるしちゃってる。

●中央【少し離れている】

【額に軽くキスする】

ちゅ♡

〈主人公〉

「トワちゃん！」

主人公、とうとう耐えかねてトワに抱きつく。

トワ、それをしっかりと受け止める。主人公よりもトワの方が、背が高い。

SE13

…主人公がトワに抱きつく音

SE14

…トワが主人公を撫でる音

●中央

【『おお』は気持ち声高めに】

おお。よし、よし♡

ふふ。可愛い甘えんぼさんですね♡

〈主人公〉

「弱くてごめんねえ……。弱くてすぐ泣くダメな人でごめんねえ……」

●中央

「うん、うん。弱くていいじゃありませんか。」

【ひととき優しく】

トワは！ 優しくてよわよわな。アナタが大好きですよ♡

【瞼に軽くキスする】

ちゅ♡

●中央【至近距離】

【主人公の泣き顔を見ていたら、どんどんいやらしい気分になってくる】

可愛い。

そんな顔で見られちゃったら。

トワ、何でもしてあげたくなっちゃいます♡

トワ、主人公のあごを軽く持ち上げてキスする。

●中央【至近距離】

「唇に軽くキスする」

ちゅ♡

『可愛い』の『可愛い』。本音が漏れる感じで」

かわい……。

【ゆっくり舌を入れて、30秒ほどディープキスする】

ん……♡ ちゅっ♡ くちゅっ……れろっ……。ちゅるるっ……ちゅぱっ。

【唇を離してすぐ、もう一回軽くキスする】

ちゅ♡

【少し照れて】

あは……。何だかトワも、すっごくえっちな気分になってきちゃいました」

トワ、主人公を抱きしめて、優しく主人公の背中を撫でる。

SE15 …トワが主人公の背中を撫でる音

●中央

「額に軽くキスする」

ちゅ♡

いい子、いい子。

今日はたくさん頑張りましたから。少しお休みしましょうね」

トワ、一度主人公から離れると、ベッドの上に座る。

SE16 …【繰り返して合計3秒ほど流す】トワの足音

SE17 …【0ー5秒ほどまで流す】トワがベッドに腰掛ける音

SE18 …【0ー2秒ほどまでの『ぼん、ぼん、ぼん』までを流す】トワがベッドをぼん、

ぼん、と叩く音

●少し遠くから

「ほら。おいで♡」

〈主人公〉

「……!!」

SE19 …主人公がベッドに飛び込む音

SE20 …【繰り返して2回分流す】主人公がトワに「こそ」と抱きつく音

主人公、トワの胸に勢いよく飛び込む。完全に甘えモードに入っている。

トワ、それが思ったより激しいので驚く。

聞くところによると、主人公は交際経験が少なく、現在の、心から好きだと思った人と交際できている生活が信じられないらしい。

トワ『それはトワもだいたい同じって言うか、主人公以外にお付き合いした人は当然ゼロですわ』と思いつつ、そんな主人公に、自分のできることは何でもしてあげたいと感じる。

主人公、トワの胸にしがみつく。

トワ、そんな主人公の頭を撫でる。

〈主人公〉

「……トワちゃん、好き……。大好き……。えっちしたい……えっちしたいです！」

SE21…トワが主人公の頭を撫でる音

●中央、やや上

「うん、うん。

アナタは頑張ってますよ。偉い子です。

いっぱい頑張って疲れましたよね？

おっぱいちゅちゅしておまんこすりすりして、いっぱい気持ちよくなりましょ♥」

〈主人公〉

「……うんっ……。

トワちゃん……おっぱい欲しい……おっぱい飲ませて……」

トワ、今の自分の身体は、人間として暮らしていくための、いわばアバターのようなもの。だから『トワのおっぱいニセパイなのに、そこわかっていてこんなに欲しがるなんて、ほんとこの人可愛いです』と思う。

主人公のことを、好きなだけ甘えさせてあげたいと感じる。

SE22…

【0―5秒ほどまで流し、その後セリフと重ねて流す】主人公がトワの胸に顔をうずめようとする、ごそごそという音

●中央、やや上

「くすぐったくて笑ってしまっ」

ふふー

こらぁ。そんなに早くおっぱい飲みたいですう？
毎日飲んでるくせに♡

【ひとときわ甘ったるく】
本当に！ えっち大好きさんなんですからぁ♡

SE23 …【0―15秒ほどまで流し、音量は小さめに加工する。『勢いよく降ろす』という印象にならないように、ジッパーを降ろす部分は、本来の音よりゆっくりに加工する】トワがワンピースのジッパーをおろし、ワンピースを脱ぐ音

SE24 …トワのワンピースが、すんとベッドの上に落ちる音

トワ、ワンピースのボタンを外して、背中中のジッパーをおろす。
すると、それだけで下着姿になる。外で着る時は透けないように中にもう一枚着るのだが、今日は最初からこれが狙いなので着ていない。

トワ、胸が大きいので、ワンピースを脱ぐ時、胸のところだけ窮屈そうになり、少し脱ぎにくそうにする。

主人公、それを見て非常に興奮する。思わずトワの胸を凝視してしまう。

トワもそれがわかっているので、気分がいい。

トワ、自分の身体にはさほど興味がない。

『そもそもニセパイですしい、サイズ自慢してもむなしくありませんか？ むなしさの極みですよ〜』と思っている。

だが、主人公が気に入ってくれるのはとても嬉しい。主人公に対してだけは、いっぱい性的な目で見られたい。興奮してくる。

●中央

「ほら♡ 見て？ アナタ専用の、おっぱいです♡

早くブラの中、見たいでしょ？

【ひとときわ甘ったるく】
ホック。外してほしいな♡」

〈主人公〉

「……！」

主人公、トワの方を見て頷きつつも、顔を真っ赤にしている。

●中央【近づく】

【少し間を空けて。主人公が胸を凝視してくせに、その手が震えているので】

えー？ まだ緊張しますう？ ふふ♥」

トワ、下着は主人公に脱がして欲しい派。

特に、主人公の手でブラジャーを外されると『これからえっちしちゃうんですね……♥』と実感が湧いて、すごく興奮する。自分で脱ぐのはいけない。ダメゼツタイ派。

今日も主人公の手を導いて、脱がしてもらおうとする。

●中央【至近距離】

【自分から誘っておいで、実はとてもドキドキしている】

あ……」

SE25

…【小さめに】主人公が、トワのブラジャーのホックを外す音

●中央【至近距離】

【胸が直に空気に触れて、すごく興奮している】

ん♥」

SE26

…【0―1秒ほどの、1回目の『パサ』だけを流す】主人公が、トワのブラジャーの肩ひもを落として、ブラジャーが手前、トワの膝側に落ちる音

●中央

【いざ脱がされると、少し照れる】

えへ♥ 脱がされちゃいました……♥

おっぱい。見られちゃった♥

●中央【至近距離】

あ♥ 頭うめたいの？ もお。やーらしい♥

どおぞ？ よしよし。おっぱいですよー♥」

主人公、トワの胸にそーっと近づくと、中央から抱きついて、左乳首を口に含んで、無心で吸う。

最初はおとなしいが、次第に大胆になっていく。

トワ、それを受けとめようとして、だんだん身体がずれていく。

繰り返しになるが、トワの身体はアバターのようなものである。そのため、正直なところ『本当の姿』でいる時よりも、感覚はかなり鈍い。

だから本来であればあまり感じないはずなのだが、主人公が、この胸が偽物だとわかっていて、それでも夢中で甘えてくるのが可愛くて、次第に感じ始める。

●中央

【最初に軽く嚙まれて、びくっとする】

ん……。

【20秒くらい。吸われながら、ゆっくり呼吸し、吐息が漏れる程度。そこまで感じておらず、喘がない】

はぁ……。はぁ……。ふう……。おいしい……？

【少し感じている。快感に耐えるように低めの声で】

ぁ……。

【20秒くらい。少し息が上がってくる】

ぁ……。はぁ……。ぁぁ……。

ふふ。夢中で吸ってますね……。♡

トワのおっぱいは。アナタだけのものですから。

どんな風にでもして、いいんですよ？

【また、少しだけ感じている】

ぁっ……。

ん……そう……。いい子、いい子♡

上手にちゅっちゅできて、とっても偉い子です。 ※2個目

【『よ。こになって』は『横になって』。少し苦しそうに。今の姿勢がつかなくなってくる】

ぁ、そしたらぁ♡ よ。こになって。

お口で。ちゅぱちゅぱしながら。

こっちのお手手は。もう片っぱのおっぱいをもみゅもみゅ。しましうね。

したかったんでしょ♡ さっきからずっとさわわしてますもんね。

もっと強く。しっかり触っていいんですよ♡

ほら。気持ちよくて、あったかくて。安心。するでしょう？

●上 髪にキスする

ちゅ♡

SE27 …【0―8秒ほどまで流してセリフ。その後最後まで流す】主人公とトワがベッドに横になる音

主人公とトワ、ベッドに横になる。

主人公としては、右耳を上になっている状態。トワ、主人公の背中を優しく撫でる。

●やや右側

「んー？ おっきいおっぱい好きい？

トワも。アナタにもみもみされるの。好き♥

【10秒くらい。吸われながら、ゆっくり呼吸する。さっきよりも感じている】

……あ。はあ……はあ……はあ……

すっごくいい子ですから、頭。なでなでしてあげますね♥」

トワ、主人公に乳首を吸わせているうち、自分がまるで主人公の母親になったような気分になってくる。そう思うと、胸が温かく、きゅーんとなる。

トワ、自分はこの性格だし、母性などといったものはないと思っている。

だが、主人公とこうしていると、なぜかふつふつと温かいものが湧く。

だから幸せなのだが、実際は母親ではないので、ずっと吸われていると感じてしまつて、だんだん余裕がなくなってくるのも事実。

しかも、ここで主人公が、吸っていない方、トワの右乳首をつまんでくる。

●中央

【「ここで初めて喘ぐ。小さめの声で」】

あっ……もう。手。やーらしいっ♥

【少し余裕がなくなってくる】

そんなにこねこねされたらあ。トワの乳首。かちかちになっちゃいますよお……？

【小さめだが、非常に感じている声。痺れるような快感】

はっ……！

だめっ、たらあ♥

【声を我慢して、言葉とは裏腹に余裕があるふりをする】

あ。気持ちよすぎ……。

【乳首の真ん中部分をちろちろなめられて、びくつとする】

ちろちろって、しないでえ。お乳大好きの変態さんなんですからあ♥

あんっ。……それ、だめですう……♥

【20秒くらい。快感に耐えるように、ゆっくり呼吸し、声が低くなる】

はあ……はあ……はあ……ふう……」

SE28

…【0―6秒ほどまで流す】主人公がもぞもぞ動く音

トワ、まずい。主人公を癒すつもりだったのに、このままだと自分が攻められちゃうかも……。と思う。

しかしそこで、主人公が自分の胸に触りながら、腰をくねくねさせているのに気づく。

●中央

【優しく】

ん？」

トワ、手を伸ばして、主人公の服の上から股間をさする。
スカートの上から触っているのに、そこからでもなんとなくしっとりしている。

トワ、そうさせたのは自分なのに、ドキっとする。

『これは逆転のチャンスですねー！』と思う。

SE29

【0—2秒ほどまで流す。ごく小さめに】トワが主人公の股間をさする音

●中央

「……あ♥ ここがむずむずしてきちゃったんですね？
わかりますよね？

さっきから♥ おっぱい飲みながらあ。

興奮して。ずっと腰もぞもぞして！ ぱんつにクリちゃんすりすりしてたでしょう。

トワ、ちゃあんとみてたんですよ♥

●右耳にささやく

【優しく、少し意地悪に】

おまんこいじいじしてほしくなっちゃったの？ そうなんでしょう？

●中央

『そうです』って、ちゃあんと言えるかな？」

主人公、顔を真っ赤にして頷く。

〈主人公〉

「……そう、です……」

●右耳

「うふ。偉い子ですね♥」

トワ、主人公を仰向けにさせ、スカートはそのまま、下着だけ脱がそうとする。

●中央、上

「じゃあ♥ 脱ぎ脱ぎしましょうね♥

はい。足開いてえ？」

SE30 …主人公が仰向けになる音

●中央、上

「あ♥ これ！ この前のお休みにトワが買ってあげたパンツですね♥
いい子だから。ちゃんと履いてたんですね♥」

SE31 …【0―2秒ほどまでの『くちゅ』1回分のみ】トワが主人公の股間に触る水音

●下

【興奮して】

あ♥ すご♥ とろとろだあ……。

●中央

トワのおっぱいちゅっちゅしてるだけで、こおんなになっちゃったの？
おっぱいの後はクリちゃんいたずらしてもらえと思って♥
えっちなお汁で。
ばんつぬるぬるにしちゃったの？

【優しく】

いいですよ♥ 隠さないで。
トワの前では。どれだけえっちになってもいいんですよ。
トワのおっぱい飲みながら、おまんこ気持ちよくなりたいんですよ♥」

主人公、両手で鼻まで覆いながら、恥ずかしそうに頷く。
トワ、それを見て、やっぱり主人公を攻めるの大好き！ 最高！ と感じる。
しかし、自分で言い出したものの、こういう姿勢をとればいいのか？ と少し悩む。
このまま一緒に横になって、自分が手を伸ばして触るのがいいかな？ と考える。

SE32 …【本来の音よりかなりゆっくり加工しながら、セリフと重ねて、33が始まる
480まで流す】トワが主人公の股間に触る水音

●中央

【「くっ」と喉を鳴らす】

くっくっ。

【興奮して、少しからかうように】

わ♥ 熱う♥ ちよっとさすっただけで。
するんっとおまんこの中に指が入っちゃいそうです♥
可愛いなあ……トワとしてみたくてこんなになっちゃうなんて♥ 本当に可愛いです。

【優しく】

ふふ。どうして欲しいですかあ？

安心していいんですよ。アナタの好きなえっち、みいんなしてあげます。

クリちゃんもおまんこも、アナタがいっぱいイッて満足して、おねむになっちゃうまで。何回でも気持ちよくしてあげます。

●右耳にささやく

だから。いっぱい可愛い声、聞かせて下さいね♥

【甘くからかう】

あー♥ 今びくってしたあ♥ 可愛い♥

●右耳【至近距離】

耳弱いですよ。知ってます♥ じゃ、こーやっておしゃべりしながらあ。くちゅくちゅしちやお♥」

SE33

…【34が始まる513まで、セリフと一緒に、繰り返し流す】トワが主人公の股間に触る水音

●やや右側

「こーやって♥

とろとろおまんこ。

すりすりしてあげます♥

【ひときわ甘く】

ほら♥ クリちゃん。こんな風に♥

ちよっと圧迫されながら擦られるの。

好きですよ♥

わかってますよ♥

毎日アナタのことイかせてあげてるんですから。

アナタのクリちゃんはどうしたら喜ぶかなんて。アナタよりわかってるんです♥

【主人公が胸を触りたそうにしているの】

うん、いいですよ。

ふふ♥ おっぱい飲みながら、もみもみしながら。腰えっちにへこへこして♥

トワのお指にクリちゃんこすこすししましょ？

乳首ちゅうちゅうしながら、目一杯甘えんぼさんになって♥

クリイキしましょうね♥

ふふ、かーわいい♥

【主人公が夢中で乳首を吸ってくるので】

んっ………♥

あ……！ もう、えっちゃんなんだからあ。

【※マークまで、いたって普通のトーンで話しているが、これが本心】

えへ。……トワ、アナタのこと、もっとえっちにしたいです。

毎晩泣くまであんあんさせて、ぺたって寝ちやうまで全身いたずらして。

トワなしじゃられない身体にしたい。※

【熱っぽく本音が漏れる】

大好きですよ……いっぱい気持ちよくなって下さいね……♡」

トワ、主人公に奉仕するつもりだったのに、本音が漏れ始めていることに気づく。
今日したいのは、あくまで主人公を癒すことなので、そーっと方向転換する。

SE34

：【535 まで、本来の音よりかなりゆっくり加工して、繰り返し流す。感じる場所に丹念に愛液を塗り込んで、ゆっくりさすっているイメージ】トワが主人公の股間に触る水

音

●中央

「【ここで方向転換する】

あ、そうだ♡ これも。好きですよね♡

いっぱいぬるぬるつけてえ。ゆっくりちゅこちゅこするの♡

●右耳にささやく

いついってもいいですよ。ぎゅーって支えてあげますから。

イってぴくんぴくんしてる恥ずかしくてやらしい姿。トワに見せて下さいね♡

●右

【自分の指の動きに合わせながら言っている】

くちゅ、くちゅ♡ くちゅ、くちゅ♡ くちゅ、くちゅ♡

【主人公が感じて、すっかりとろけているので】

ふふ♡ おまんこ気持ちいいね♡

すりすりされて、クリちゃん嬉しいね♡

【自分の指の動きに合わせながら言っている】

くちゅ、くちゅ♡ くちゅ、くちゅ♡ くちゅ、くちゅ♡

〈主人公〉

「……ト、トワちゃん……。わたし、もう……」

※ここからSE34の速度をやや早める。元の速度よりはゆっくりで

●右寄り

【少し気遣うように】

あ。そろそろイきそう？

いいよ。イク時は。トワの名前呼んでね♥

【少し間を空けてから。とても優しく】

うん。いいよ♥ 声聞かせて？

うん♥

〈主人公〉

「ああああっ……！ トワちゃん、イクっ……♥」

●右寄り

【「びくっとする主人公の身体を支えて、自分も声が漏れる」

あ♥ んっ……！」

SE35

…【あまり激しく『ドサー！』と落ちた印象にならないように、ゆっくりめに加工する】主人公がベッドに力なく倒れる音

〈主人公〉

「はぁ……はぁ……はぁ……。トワちゃん……トワちゃん……」

トワ、主人公がすっかり脱力しつつ、自分にしがみつこうとしてくるのがかわいい。とても優しい気分になる。

●中央

【20秒くらい。ゆっくり息を整える】

はぁ……はぁ……はぁ……。ふふ♥

●中央

いい子、いい子。とっても可愛くイけましたね♥

上手にイけて。すっごく偉い子です♥

【唇に軽くキスする】

ちゅ♥ よし、よし」

SE36

…【0―3秒ほどまでの『ぼんぼん、ぼんぼん』のみを、3回繰り返す】トワが主人公の背中を撫でる音

● 中央

「主人公を落ち着かせるように優しく」

ゆっくり呼吸して？

とんとんしましうね。

【とてもゆつくりと。自分が背中を叩く音に合わせて言っている】

とん、とん。とん、とん♡」

1の2 後ろから抱っこの、あまあまえっち

主人公、トワに優しく背中をとんとんされて、安心しきった表情になっている。

トワ、そんな主人公が可愛く、もっと色々したくなるが、このまま寝かせてあげた方がいいのかもと思うのも事実。

というか、ご飯はどうしよう？ どうするべきか……。と、主人公の様子を見ている。

SE1…部屋の環境音

●中央【少し遠い】

「優しく。主人公をイかせて、精神的に満足している」

汗、かいちゃいましたね♥

【『も』は、もう、の『も』。氣遣って】

も、くたくた？ お休みしましょうか？

しかし、主人公、意外にもまだしたいらしい。

眠そうな目でトワに甘えてくる。

〈主人公〉

「眠いけど……トワちゃんともっとしたいよう……」

●中央【近づく】

【嬉しい】

くふ。まだしたいの？

【わざとゆっくり言う】

まだ気持ちいいとこ、ちゅこちゅこされたいの？ まだ腰もぞもぞ、止まらないんだあ？」

〈主人公〉

「うん……」

トワ、えっちにからかったつもりだったのに、主人公が素直に頷くので、逆にドキッとす
る。

トワ、普段自分はSっ気のあるように振舞って、あたかも主人公を振り回しているようだが、実際は逆。

自分は主人公を喜ばせたくて必死なだけ。すべては主人公次第なのだと実感させられる。

●中央【近づく】

「わかりました♥

じゃあ。今度は♥ 後ろから。密着しながらしてあげます♥」

SE2…トワが起き上がる音

●中央【近づく】

「優しくあやすように」

後ろからぎゅーされてするの、好きでしょ？

【主人公が認めたので】

ふふ♥ そうですよね。

【主人公にも体を起こすように促す】

おつきして？ よいしょっと……♥♥

SE3…【0―4秒ほどまで流して、以後はセリフと重ねる】主人公が起き上がる音

●中央【至近距離】

「そうだ♥ 汗もかいちゃったし。全部脱ぎ脱ぎしましょうね♥

はい♥ 万歳して下さい♥」

SE4…【0―5秒ほどまで流す】トワが主人公の服を脱がす音

●中央【至近距離】

「ふふ♥ おっぱい見せて下さいね。

【『あ』で気づいて、嬉しそうにする】

あ。ブラもちゃあんど。トワの選んだのしてて、偉いです♥ ※2個目

でもお♥ とっちやお♥

SE5…【0―1秒ほどまでの、最初の『プツ』だけを流す】トワが主人公のブラジャーのホックを外す音

〈主人公〉

「あ………!!」

主人公、ブラジャーのホックを外されて、びくつと声を上げる。
トワ、そんな主人公の、処女のような反応がたまらない

後ろから、右側から顔を出す形で顔を寄せて、キスする。

●右寄り【至近距離】

「キスする」

ん……♡

恥ずかしがらなくていいんですよ♡ とっても綺麗なおっぱいなんですから。

●右【至近距離】

胸を触り始めて、右側から顔を出して話している

【興奮して。主人公の胸を持ち上げている】

はぁ。ほんとえっちなおっぱいです。

【興奮して呼吸が荒くなる。やや早口に、独り言のようになる】

はぁ……♡ 真っ白だし。

手に吸い付くみたいに柔らかいし。

はぁ……はぁ……。絶対誰にも触らせたくない。

ねえ♡ このおっぱいもみもみしていいの。トワだけですからねっ？

【主人公の胸を揉みしだきながら】

ああ……アナタのおっぱい。形も、おっきさも……先っぽの色も♡
すっごく綺麗ですよ♡

【勃起していい乳首を、つんと指先で触れて】

まだちよっと先っぽ♡ ふにやっつけてますけど。

【乳首を勃起させたくて、いたずらし始める】

こうしていたずらしてあげたら♡ かちかちになるかなっ？」

トワ、主人公がリラックスして弛緩していたあまり、乳首がすっかり落ち着いているのが面白くない。

乳首というのは、えっちなコミックで描かれているように、常に勃起しているようなものではない。……それはわかっているのだが、なんだか気に入らない。

〈主人公〉

「あ………！ だめえ………」

●中央【至近距離】

【ゆっくり、優しくからかう】

ダメじゃないでしょっ♡

アナタも。さっきこうやって♡ トワにいたずらしたじゃありませんかぁ。

くりくり♡ くりくり♡ って♡ お返しです♡

【ゆっくりと】

こりこり♥ こりこり♥ こりこり♥

【小さな声だが嬉しそうに。勃起に気づいて。】

あ♥ 硬くなってきた♥

【わざと一つ一つ、説明するように言う】

アナタの乳首♥

おっきして、硬くなって。

こりこりして来ましたね♥

【本当においしそうな食べ物を目にしたように】

おいしそう……」

トワ、主人公の乳首を口に含んで吸う。右から。

●右 下【少し遠ざかる】

【20秒くらい。優しく、大きな音を立て過ぎないように】

はむ……ん……ちゅぱっ。ちゅるっ、くちゅっ。

【一度唇から離す。満足げに】

ふふ！

あ♥ ごめんなさい。

【主人公の左乳首をいじりながら】

こっちのおっぱいも。すぐにちゅうちゅうしてあげます♥

●左【少し遠ざかる】

【20秒くらい。さつきよりもいやらしく、少し音を故意に大きくする】

ちゅぱっ……ちゅるるっ……くちゅっ。

ふふ。

すっ、ごいえっちな顔♥ 甘々に蕩けてえ♥

すっ、ごく可愛いです♥

●左耳にささやく

大好き……。

●左【少し遠ざかる】

【20秒くらい。さらに少し音を故意に大きくする】

ちゅぱっ……くちゅるっ……じゅるっ」

トワ、主人公が再び股間をももぞさせているのに気づく。

SE6…【本来の音よりもかなりゆっくりめに加工する】主人公が再び股間をももぞさせている音

●左耳元

「あ♥ おまんこ淋しかったですね♥
さっきいっぱい。
ところどころにほぐしたい。
そろ、そろ。ずばずばされたいでしょ？」

SE7：【0―2秒ほどまでの、最初の『ごそ……』のみ流す】トワが主人公の両足を開かせる音

●中央【至近距離】

【『イッたから』をわざと少し意地悪に言う】
ほら見て♥ 一回イッたからあ。アナタのおまんこ。ますますとろとろなんです♥
見えるかな。
こっちの足。持ってあげたらわかるかな？
もっとおつきく開いて♥ おまんこ見せて♥
ほら♥ 今すっごくえっちな匂いしたでしょ♥
今のアナタ。そのくらい濡れてるんです♥」

SE8：【0―2秒ほどまでの、最初の『くちゅ……』のみ流す】トワが主人公の股間に触る水音

●右耳元【至近距離】

「ちゅぼちゅぼしてほしい？」

【主人公が認めたので】

●右【至近距離】

はい♥ 素直でえ。
とっても偉い子です♥
ちゅぼちゅぼしようね♥」

SE9：【SE8と同じ音。3秒―6秒目の音が挿入のイメージ。7秒目から17秒までは、出し入れを繰り返しているイメージ。この7―17秒目までを194まで繰り返して流れ続け、196から、速度を上げる】トワが主人公の股間に触る水音

●右【至近距離】

【かなり興奮して】

あは♥ ほんとにあっさり入っちゃう！

【わざと普段は使わない『犯す』という言葉を使って、主人公をどきつとさせる】

この指にい♥ 犯され慣れてる証拠です♥

えい♥

トワの指があ。アナタのおまんこを出たり入ったりするところ♥

見えますかあ？

その度いちいきゅんきゅんに締め付けて。

えっちなおまんこですね♥

こんなに強く咥えられて。トワ困っちゃいます♥

【切実な本音が漏れる】

……いくらでも満足させてあげますよ。

【おっとまずい、と、明るい声に戻る】

アナタが♥ トワの奥さんでいてくれる限り！ ズーっと♥ ズーっとね♥

だあいすき。ふふ

※ここからSE9の速度を速める

【30秒くらい。股間をいじるのに夢中で、吐息メイン。興奮して少し無口になる】

はあ。はあ。可愛い♥

はあ。ほんとぬちよぬちよで、えっちです。はあ……はあ……。

【いきそうな主人公の様子に気づく】

んー？

【優しくゆつくりと】

もういきそう？ うん♥ わかりましたよお♥

●右上

【髪にキスする】

ちゅ♥

〈主人公〉

「トワちゃん……！ わたし、また……」

●右【至近距離】

【甘く】

いいよ♥ イッて♥

〈主人公〉

「あぁっ……!!」

●右【至近距离】

【主人公が達したので、満足げに】

ん……♡」

〈主人公〉

「はぁ、はぁ、はぁっ……」

●右【至近距离】

「ふふ、かーわいい♡ また上手にイけましたね♡
大丈夫。ゆっくり呼吸してえ？」

ゆっくり♡ ゆっくり♡ 落ち着きましょうね♡」

1の3 身体ふきふきのあとの、ピロートーク

主人公、二度もイッてぐったりしている。

トワ『さすがにそろそろ休ませてあげましょ……』と、主人公の股間を拭き、寝かせる準備を始める。

SE1…【トラック終わりまで小さく流れ続ける】部屋の環境音

SE2…【0―5秒ほどまでの3回分のみ流す】トワがベッドをぼんぼんと叩く音

●中央【少し離れている】

【優しく】

足開いて？

二回もイッて♥ ぬるぬるのここ。

ちゃあんと拭き拭きしましょうね♥

〈主人公〉

「うん……♥」

●中央【少し離れている】

【少し間を置いて。内心ドキツとしている。主人公があまりに従順に従うので、胸が切なくなる】

もお。そんなに素直に従っちゃって。

【小さめの声で、ひとりごとのように】

トワにここまで全部許しちゃう人なんて、きっとこの世でアナタくらいですよ？」

SE3…【かなり小さめに、ゆっくり加工して、3回ほど繰り返して流す。】

トワが主人公の股間を拭く音

●中央【少し離れている】

【明るいトーンに戻る】

はい♥ 綺麗になりました♥

じゃあ。ちよっとお休みしましょうっか」

SE4…【0―5秒ほどまで流して、それからセリフと同時に最後まで流す】トワが主人公を抱きしめる音

●右寄り

「よいしょ♡ 裸でぎゅってしてると、安心しますね♡

【少し間を置いてから】

昔もね。よくこうしてくれたんですよ」

〈主人公〉

「昔って……十三年前のこと？」

トワ、このまま主人公は眠ってしまうだろうと思い、寄り添って昔話を始める。

トワとしては、いつ寝てもいいですよという気分なのだが、主人公は眠そうな顔で真剣に聞いてくれる。

●右寄り

【明るく話しているが、声が次第に真面目な雰囲気になっていく】

そうです♡ 十三年前♡ アナタはうねうねモードのトワを抱いて。

裸でピタツとして寝てくれたんです。

トワが淋しくて寒くて、震えてるんだと思って……。

ううん？ 言葉なんて通じてなかったです。

トワの本当の声、アナタは聞き取れないですし。

でもアナタはわかってくれた。精一杯優しくしてくれた。嬉しかった……。

アナタと一緒にいられなくなった後も。

その日の記憶だけで、トワはどんなことも頑張れる。

いつか絶対素敵な女性になって、アナタを迎えに行つて。

絶対、もう一度アナタと仲良くなるんだって思えました。

【声が真面目なトーンになりかけてしまったので、明るく戻す】

だからねっ♡ 最初に優しくしてくれたのは♡ アナタなんですっ♡

トワみたいな訳わかんない宇宙生物助けて。

保護してくれて！

いっぱい大事にしてくれた。

だからトワ♡ アナタのこと、こんなに大好きになっちゃった。

だからこれからずっと♡

アナタの嬉しいことはなんでもしてあげたいって、思ってるだけなんです♡

【『あ、これを言っておかない』と思いつく】

あでもお。気にしないで下さいね♡ ※1個目のセリフを採用

昔のこと。なんとなく思い出せた今だって。

そんなのあったっけえ？ って。

ピンとこないの、当然です！

というか。こっちから記憶を消しておいて、後から思い出してくれーなんて。

そんな都合のいいこと。言ったりしませんし♥

【声が少し真面目なトーンになる】

でもね。昔そういうことがあって。トワは本当に幸せだったってこと。

【明るく戻る】

それは知っておいてほしいなって♥ くふふっ♥

【声が少し真面目になる】

どうです？

今のトワは、アナタの伴侶にふさわしい人になれてますか？」

〈主人公〉

「もちろんだよ。トワちゃんは最高のお嫁さん！

トワちゃんと一緒にいられて、わたし、毎日が夢みたいに幸せなの」

【明るくふざけて】

やったあ♥ 嬉しいですう♥

【しばらく間を空けて。優しく。主人公が眠そうなので】

おやすみなさい……」

トワ、主人公とセックスしていると、とても嬉しいが、本当は人間でない自分が主人公をちゃんと喜ばせているのかと不安になり、胸が切なくなることがある。

だから、油断するとつい真面目になってしまうが、それは自分には似合わないトーンだな、と感じる。

明るい声で主人公に甘える。

【明るくふざけて】

起きたらあ。また♥ えっちしまししょうね♥」